

令和3年度 第2回小美玉市教育振興基本計画審議会 書面会議結果報告書

開催日時	令和4年2月21日から令和4年3月8日
開催場所	書面開催
表決者	元木 理寿, 荒川 一秀, 大関 律子, 稲田 雅志, 吉永 成範, 大山 徳, 大平 勇次, 鶴町 和夫, 石川 栄美子, 小田 和広, 福田 和範, 本田 仁子, 本田 理
議 題	<p>(1) 小美玉市の教育を取巻く概況について 承認 13 名 不承認 0 名</p> <p>(2) 市民意向調査による動向について 承認 13 名 不承認 0 名</p> <p>【議案に関する意見等】</p> <p>※ ご質問いただきました部分につきましては、事務局としての考え方、回答を「➡」以降に記載しております。</p> <p>(1) 小美玉市の教育を取巻く概況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多角的に述べられており、素晴らしかった。 ・令和3年度を以って「小中学校規模配置適正化実施計画」が達成できたことは、近隣市と比較して、大変素晴らしいと思う。 ・美野里地区の老朽化した施設の改修が課題となっているが、今後も、市内でも人口増が見込まれる地域であることから、対応が難しい。思い切った学区の変更も必要かと思われる。 ・施設や制度といった、ハード面の整備が進んでいるが、今後課題となるのは、運用・人材といったソフト面の充実と思われる。 ・小美玉市は、立地・環境ともに素晴らしいのだが、保護者はわが子が地域に留まって生きていくことに拘っていないようである。「魅力あるまちづくり」とは、若い世代が「子育てしやすいまち」の創出であると考える。TX 延伸や教育の核を何にするかが、大切であると思う。教育における小美玉のブランドを育てていける計画になると良いと思う。 ・基本方針・目標、対応・取組など素晴らしいと思った。 ・新型コロナウイルス感染症で大変な現状であるが、これからの子どもたちの能力を伸ばせるよう、取組を進めてもらいたい。 ・回収結果がなぜ 100%にならないのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ➡ 本調査では約 2,000 人を対象として、全体の回収率は、約 77%でした。回答された方の 1/4 は WEB での回答であり、このような手法が有効であるものと考えられますので、今後におきましては、さらに回収率が上がるよう努めてまいります。

(2) 市民意向調査による動向について

- ・タブレット端末の導入については、その活用が初期の段階のため、不安を感じている保護者や教職員が数多くいる。教職員の研修機会を増やすことはもちろん、それを幅広く広報することも必要である。
- ・保護者と教職員のアンケート結果（評価）に差が見られる質問項目については、その原因と改善方法の検討が必要である。
- ・調査により多くの課題が明らかになった。今後、課題解決に向けた対策が検討されることと思うが、市として、より具体的な方策を立て、実践できるようにしていく必要がある。
- ・アンケート項目が曖昧で、学校生活項目で想像的な質疑が多い。
調査結果から意見・要望等は把握できないのではないか。
➡ アンケートについては、全体的な傾向を捉えるため実施したものでありますが、特に、問 13 の満足度、問 14 の重要度の回答におきましては、今般の計画の施策や事業に反映できるものと考えております。また、具体的な意見・要望につきましては、次年度における各種団体とのヒアリング等により、把握に努めてまいります。